

フロイント産業株式会社 2005年2月期 決算説明会資料

日 時 : 2005年4月26日(火)
場 所 : 東京証券会館 8階第4会議室
説明者 : 代表取締役社長 堀 哲郎
 常務取締役 小笠原 利近
 (技術開発研究所長)
 取締役 具志堅 敬
 (国際本部長、IR担当)
司 会 : 経営管理本部長 白鳥 則生

お問合せ先 :
経営管理本部長 白鳥 則生
TEL:03-5908-2631 FAX:03-5908-2651
E-mail : n-shiratori@freund.co.jp

【 目 次 】

1 . フロイントグループの概要 - 事業活動の領域 -	P 1
2 . 2005年2月期決算概況		
(1) 2005年2月期の経営成果	P 2
(2) グループ各社決算の概要	P 3
(3) 2005年2月期 損益計算書 (連結)	P 4
(4) 部門別売上高・売上高構成比 (連結)	P 5
(5) 売上高・営業利益の推移 (個別)	P 6
(6) 2005年2月期 貸借対照表 (連結)	P 7
(7) 各種収益率の推移 (連結)	P 8
(8) 設備投資額および研究開発費 (連結)	P 9
(9) 中期的な経営戦略・課題	P10
3 . 2006年2月期業績予想	P11

【フロイントグループの概要 - 事業活動の領域 - 】

フロイント産業				
部門	機 械		化成品	
製品商品	粉粒体機械装置	計器・部品等	医薬品添加剤	食品品質保持剤 健食関連等
	粉粒体機械のプラント工事		治験薬製造受託	
主要製商品	全自動フィルムコーティング装置（アクアコーター、ハイコーター）		球形顆粒（ノパレル）	ミニカ [®] セル
	流動層造粒コーティング装置（フローコーター）		直打用乳糖（ダイレクトス）	水性シラック液
	遠心転動造粒コーティング装置（グラニレックス）		着色剤（酸化チタン）	食品品質保持剤 〔アンチモールド ネガモールド アンチモールドテンダー〕 健康食品 ・ビタミンE ・イチョウ葉エキス ・CoQ10等
	シームレスミニカ [®] セル製造装置（スフェックス）		崩壊剤・滑沢剤等	
グループ各社	VECTOR CORPORATION（粉粒体機械装置の製造販売）		VPS CORPORATION（治験薬製造の受託）	フロイント化成（食品品質保持剤等の製造）
	FREUND INTERNATIONAL, LTD.（米国子会社の持株会社）			

【 2005年2月期の経営成果 】

<<連結>>

機械部門

増収		29.1%
増益		54.7%

<<各社経営成績>>

フロント産業(個別) 機械部門

増収		32.5%
----	--	-------

VECTOR CORPORATION

増収		27.1%
増益		4.7%

化成品部門

減収		1.4%
減益		5.0%

フロント産業(個別) 化成品部門

減収		1.5%
----	--	------

フロント化成

増収		13.3%
増益		237.4%

VPS CORPORATION

減収		36.3%
赤字	---	赤字 継続

(増益・減益は営業利益ベース)

【グループ各社決算の概要】

1. フロイント産業株式会社

	2004年2月期		2005年2月期	
		前期比		前期比
売上高	7,272百万円	6.3%	8,401百万円	15.5%
営業利益	338	21.9	512	51.3
経常利益	343	46.1	570	65.8
当期純利益	143	7.6	318	121.4

機械部門の受注状況

受注高	4,808	43.5%	4,881	1.5%
受注残高	2,203	110.7%	2,252	2.2%

2. フロイント化成株式会社 <食品品質保持剤等の製造>

	2004年1月期		2005年1月期	
		前期比		前期比
売上高	991百万円	7.0%	1,123百万円	13.3%
営業利益	12	63.7	43	237.4
経常利益	12	46.8	42	230.6
当期純利益	7	34.5	24	238.3

3. VECTOR CORPORATION <粉粒体機械装置の製造・販売>

	2003年12月期		2004年12月期	
		前期比		前期比
売上高	19,160千\$	4.6%	24,353千\$	27.1%
営業利益	1,378	54.8	1,443	4.7
経常利益	1,459	142.9	1,564	7.2
当期純利益	915	-	1,476	61.4

受注状況

受注高	23,896千\$	113.2%	21,522千\$	9.9%
受注残高	12,251	227.0	12,698	3.6

4. VPS CORPORATION <治験薬製造の受託>

	2003年12月期		2004年12月期	
		前期比		前期比
売上高	1,841千\$	43.1%	1,173千\$	36.3%
営業利益	1,275	-	1,649	-
経常利益	1,301	-	1,684	-
当期純利益	1,302	-	1,684	-

【2005年2月期 損益計算書(連結)】

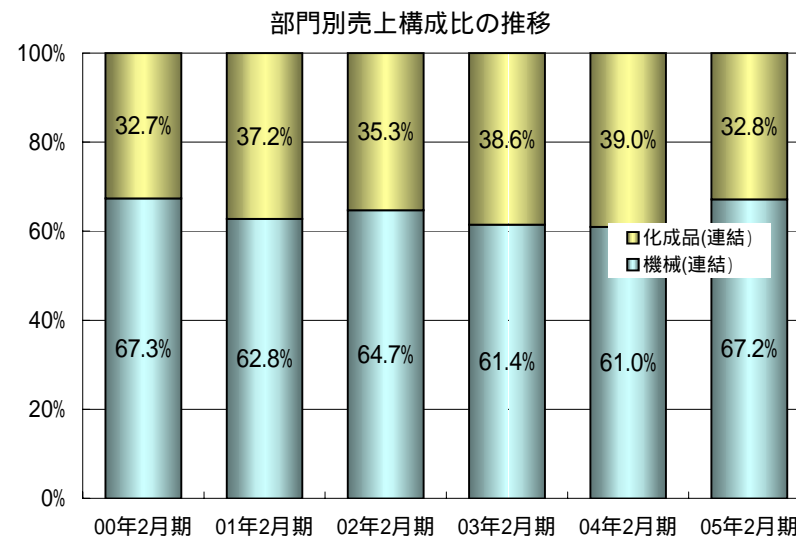
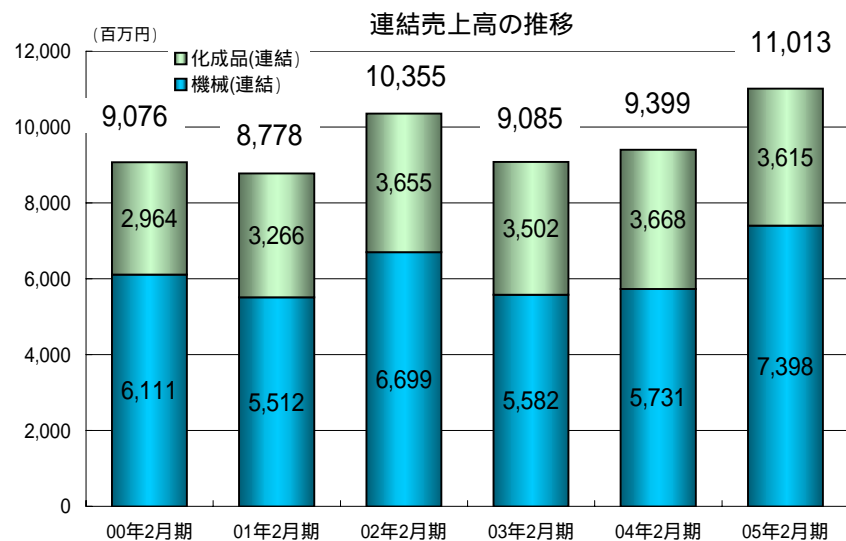
(百万円)

	2002年2月期		2003年2月期		2004年2月期		2005年2月期		コメント
		前期比		前期比		前期比		前期比	
売上高	10,355	18.0%	9,085	12.3%	9,399	3.5%	11,013	17.2%	<p>売上高は前期比 17.2%の増収。</p> <p>営業利益は前期比 59.3%の増益 機械部門の売上高伸長による売上総利益の増加。 リース契約の再リース移行に伴うリース料の大幅軽減。 人件費の伸び率抑制などグループ全体で経費管理を強化。</p> <p>経常利益は前期比 65.0%の増益 為替変動に左右されない経営体質へ転換 支払手数料の軽減</p> <p>当期純利益は前期比 976.8%の増益 前期は本社移転に関わる一時費用の負担や、米国子会社が保有していた繰延べ税金資産の取り崩しなどがあった。</p>
機械部門	6,699	21.5%	5,582	16.7%	5,731	2.7%	7,398	29.1%	
化成品部門	3,655	11.9%	3,502	4.2%	3,668	4.7%	3,615	1.4%	
売上総利益	3,431	11.9%	3,070	10.5%	3,197	4.1%	3,325	4.0%	
販売管理費	2,923	0.7%	2,887	1.2%	2,869	0.6%	2,802	2.3%	
営業利益	508	315.9%	183	63.9%	328	78.9%	522	59.3%	
経常利益	654	428.1%	93	85.7%	335	258.4%	553	65.0%	
当期利益	306	282.0%	16	94.7%	26	62.3%	285	976.8%	
売上総利益率	33.1%		33.8%		34.0%		30.2%		
販売管理費率	28.2%		31.8%		30.5%		25.5%		
営業利益率	4.9%		2.0%		3.5%		4.7%		
経常利益率	6.3%		1.0%		3.6%		5.0%		
当期利益率	2.9%		0.2%		0.3%		2.6%		

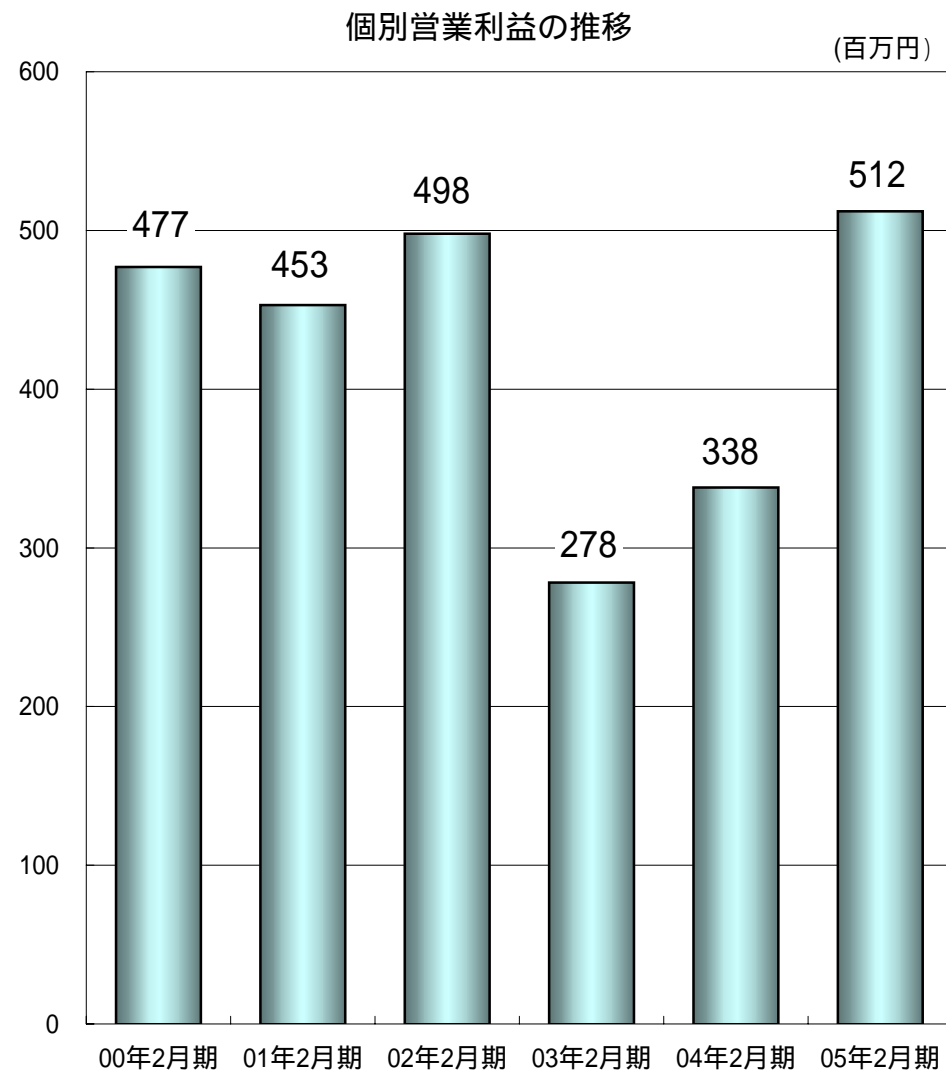
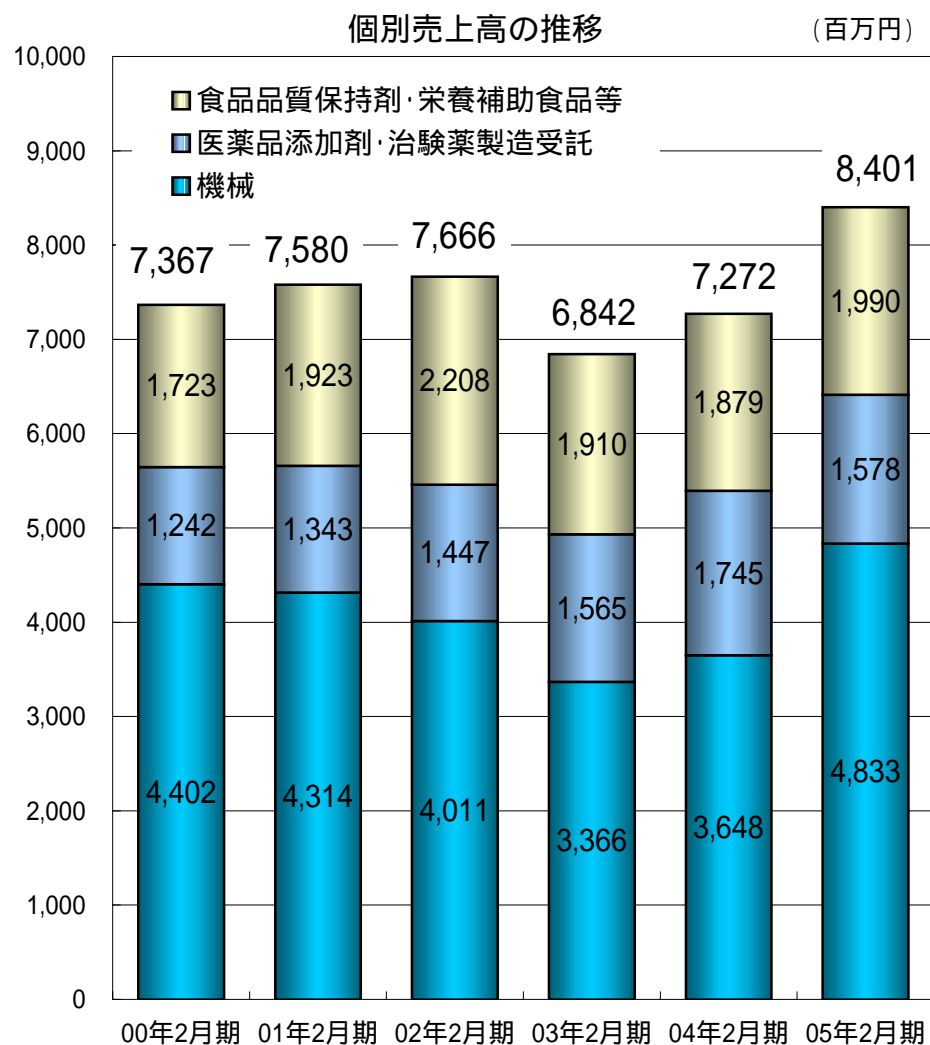
【部門別売上高・売上高構成比（連結）】

（百万円）

	2002年2月期		2003年2月期		2004年2月期		2005年2月期		コメント
		前期比		前期比		前期比		前期比	
売上高	10,355	18.0%	9,085	12.3%	9,399	3.5%	11,013	17.2%	<p>機械部門 国内・海外とも期初から高水準の受注残と期中を通じて好調な受注に支えられた。</p> <p>化成品部門 治験薬製造受託のインフラ整備のため受託を一時見合わせざるを得なくなったが、医薬品添加剤の需要は引き続き伸長。 食品品質保持剤についても菓子業界の活況と相俟って注文量は高水準で推移。</p>
機械部門	6,699	21.5%	5,582	16.7%	5,731	2.7%	7,398	29.1%	
化成品部門	3,655	11.9%	3,502	4.2%	3,668	4.7%	3,615	1.4%	
売上高構成比	100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		
機械部門	64.7%		61.4%		61.0%		67.2%		
化成品部門	35.3%		38.6%		39.0%		32.8%		



【売上高・営業利益の推移（個別）】



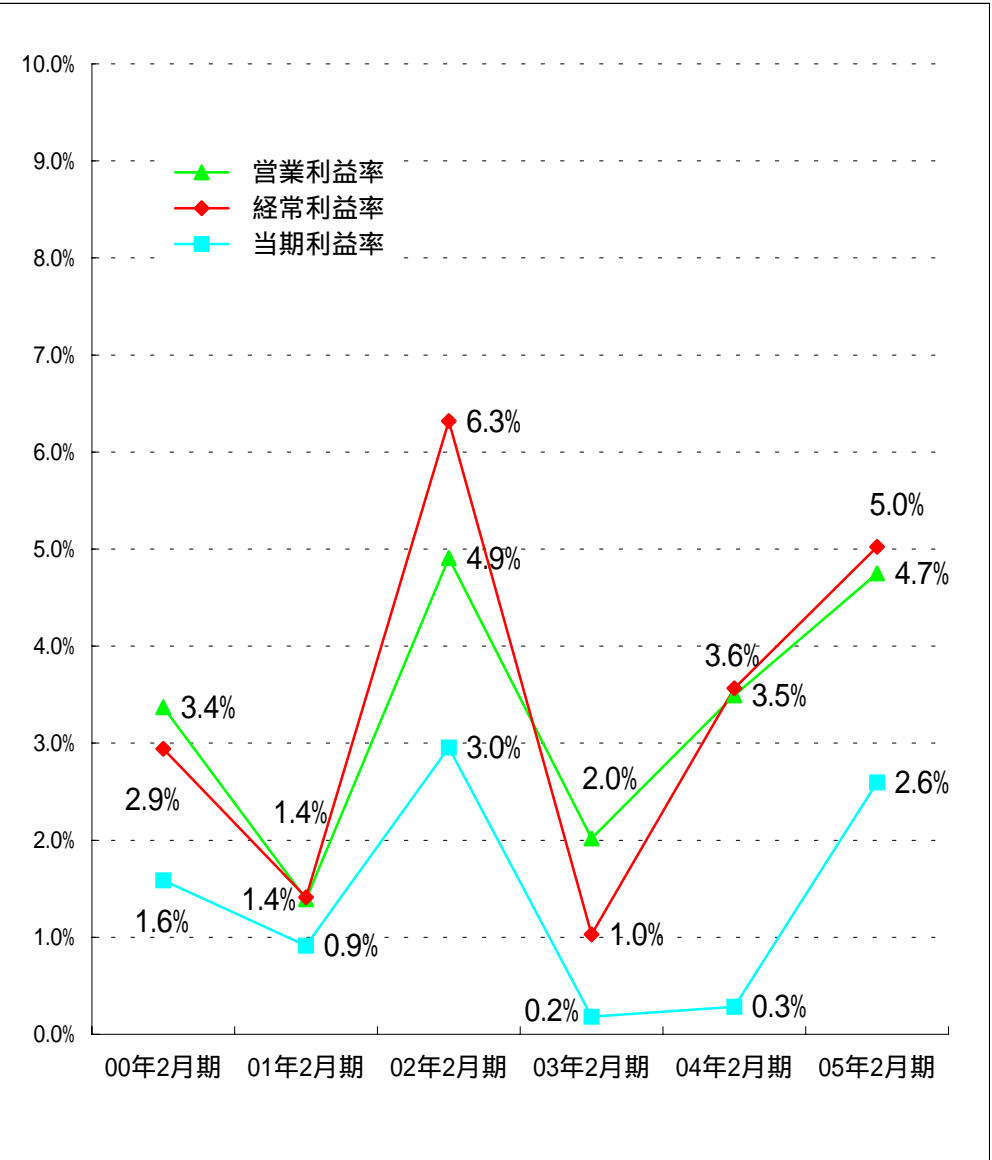
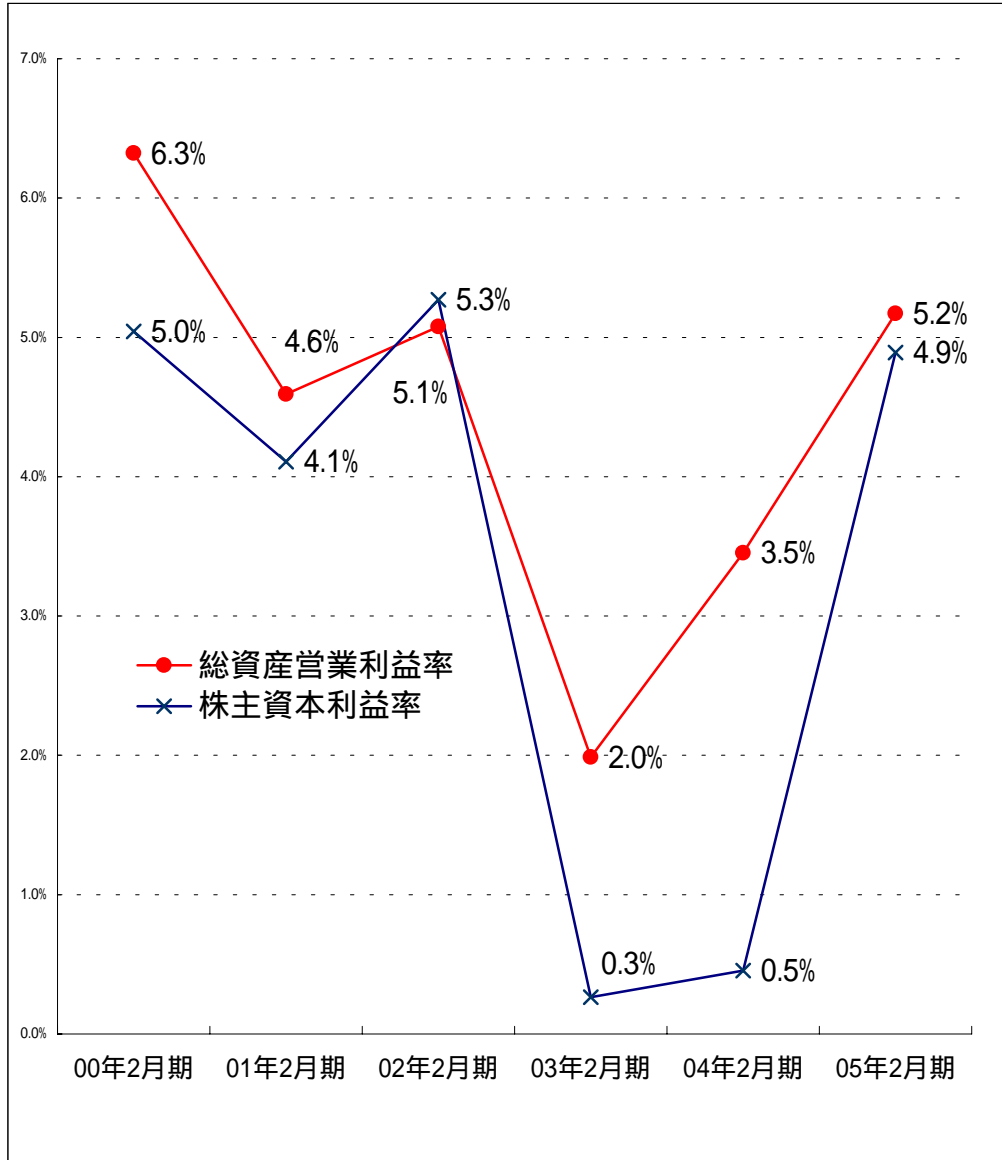
【2005年2月期 貸借対照表(連結)】

百万円：単位未満は四捨五入

	2004年2月期	2005年2月期	増減		2004年2月期	2005年2月期	増減
流動資産	6,352	6,307	45	流動負債	3,483	3,188	295
1.現金及び預金	1,305	1,354	48	1.支払手形及び買掛金	1,921	1,813	108
2.受取手形及び売掛金	3,155	3,006	149	2.一年内返済長期借入金	79	44	36
3.棚卸資産	1,575	1,511	63	3.前受金	818	516	302
4.繰延税金資産	147	158	12	4.その他	665	816	150
5.その他	194	304	111	固定負債	584	636	52
6.貸倒引当金	24	27	3	1.長期借入金	144	100	44
固定資産	3,784	3,781	3	2.退職給付引当金	73	87	13
1.有形固定資産	2,685	2,705	20	3.役員退職慰労引当金	272	292	20
2.無形固定資産	99	74	25	4.繰延税金負債	59	60	1
3.投資その他の資産	1,000	1,002	2	5.その他	37	98	60
				(少数株主持分)	317	325	8
				資本	5,750	5,937	187
				1.資本金	1,036	1,036	---
				2.資本剰余金	1,283	1,283	---
				3.利益剰余金	3,718	3,946	228
				4.その他有価証券評価差額金	2	4	1
				5.為替換算調整勘定	160	203	43
				5.自己株式	128	128	---
資産合計	10,135	10,087	48	負債、少数株主持分及び資本合計	10,135	10,087	47

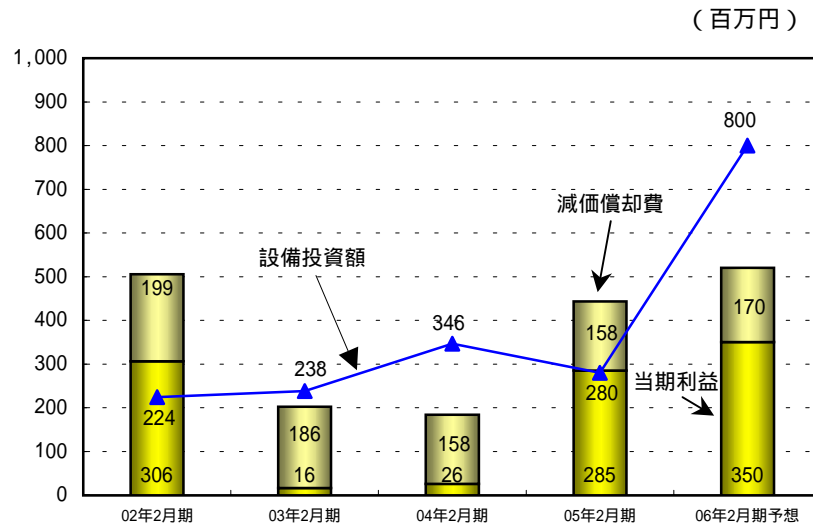
受取手形及び買掛金（149百万円）、棚卸資産（63百万円）と支払手形及び買掛金（108百万円）、前受金（302百万円）の各科目で減少。
 流動負債の「4.その他」の増加の主なものは未払法人税等（+128百万円）
 受注増、売上増にかかわらず、総資産は横這い推移により資産の効率性は向上。

【各種収益率の推移（連結）】

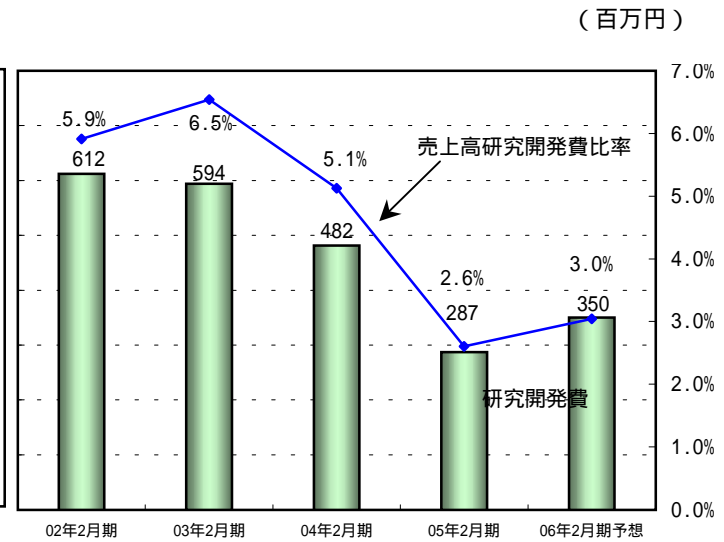


【設備投資額および研究開発費（連結）】

1. 設備投資額



2. 研究開発費・売上高比率



連結

(百万円未満切捨)

	02年2月期	03年2月期	04年2月期	05年2月期	06年2月期 予想
売上高	10,355	9,085	9,399	11,013	11,500
当期利益	306	16	26	285	350
減価償却費	199	186	158	158	170
設備投資額	224	238	346	280	800
研究開発費	612	594	482	287	350
売上高研究開発費比率	5.9%	6.5%	5.1%	2.6%	3.0%

【中期的な経営戦略・課題】

新製品開発

営業部門が認識する『市場ニーズ』と開発・技術部門が有する『革新性』を融合し、売上高に占める新製品比率の上昇を図る。

国際ビジネス

在外子会社と連携してワールドワイドな事業展開を図り、国際的な造粒・コーティング技術を駆使した研究開発型企業として、ブランド力をより一層強固にする。

利益の創出

開発態勢を整備・充実し、積極的に設備投資を行うとともに、海外を含め調達ルートが多様化など一層の原価低減に努め、さらなる経営基盤の強化を図る。

【2006年2月期業績予想】

< 連結 >

	2005年2月期実績				2006年2月期予想			
	中間期	前年同期比	通期	前年同期比	中間期	前年同期比	通期	前年同期比
売上高	5,576百万円	40.3%	11,013百万円	17.2%	5,500百万円	1.4%	11,500百万円	4.4%
営業利益	179	---	522	59.3	200	11.3	640	22.4
経常利益	206	---	553	65.0	210	1.8	660	19.3
当期利益	90	---	285	976.8	120	33.1	350	22.5

< 単体 >

	2005年2月期実績				2006年2月期予想			
	中間期	前年同期比	通期	前年同期比	中間期	前年同期比	通期	前年同期比
売上高	4,084百万円	31.7%	8,401百万円	15.5%	4,000百万円	2.1%	8,500百万円	1.2%
機械	2,369	74.4	4,833	32.5	2,304	2.7	4,792	0.9
化成品	1,715	1.5	3,568	1.5	1,696	1.1	3,708	3.9
営業利益	140	1,549.4	512	51.3	180	28.3	540	5.3
経常利益	175	1,394.6	570	65.8	200	14.1	580	1.7
当期純利益	98	---	318	121.4	110	11.4	320	0.5